

報告1 ふるさと酒々井 地方創生の取組について



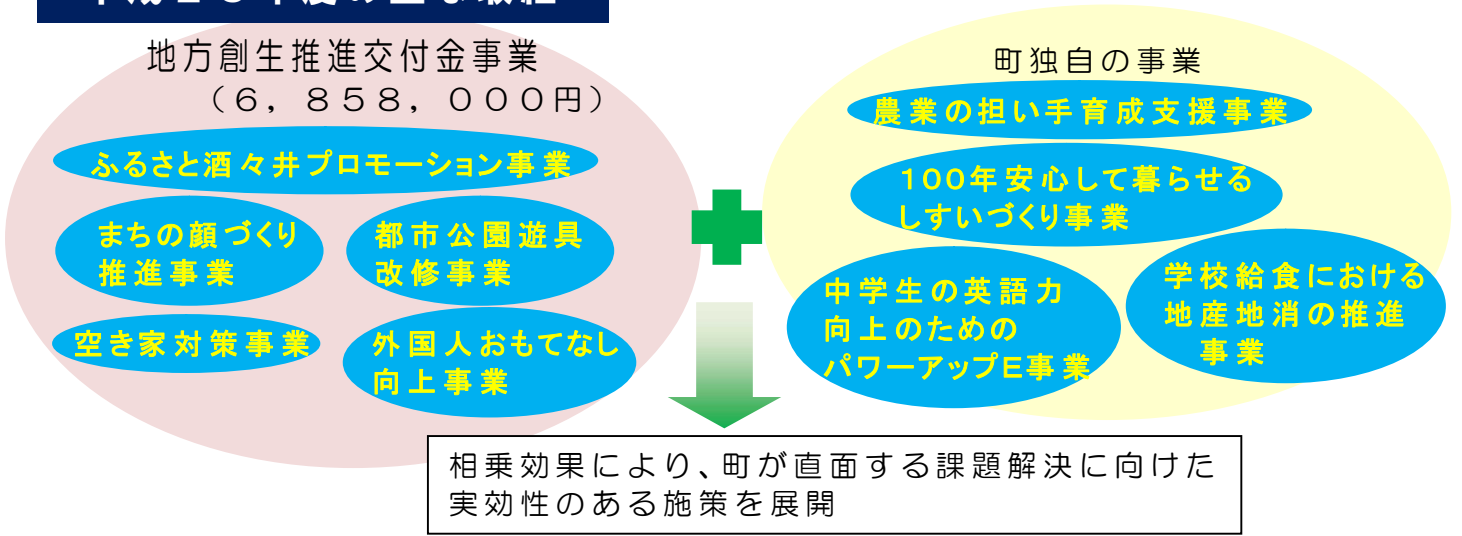
今年で町制施行128年 “日本で一番古い町”

酒々井町の地方創生の取組を報告します

少子高齢化の急速な進展と人口減少により、将来的には自治体消滅の可能性もあるという衝撃的な発表を受け、全国の自治体では、それぞれが生き残りをかけ総力を挙げて人口減少対策に取り組んでいます。

当町でも、平成27年10月に「酒々井町、まち・ひと・しごと創生総合戦略～100年安心して住めるまちづくりプラン～」を策定し、第5次酒々井町総合計画後期基本計画とともに、“ふるさと酒々井”の地方創生を推進しています。

平成28年度の主な取組



平成29年度の主な取組

◎町民の生涯学習の拠点 「プリミエール酒々井」の増築工事

地方創生拠点整備交付金事業 (74,634,000円)

多目的室の増築により児童館の機能も兼ね備えた施設となります。



これは、成田市の公津の杜にある「もりんぴあこうづ」や荒川区にある「ゆいの森あらかわ」のような複合施設（図書館、文化ホール、児童館）を参考にしています。

少子高齢化時代において地域づくりを進めていくには、子育て世帯や高齢者等の世代間を超えた地域のつながりが重要であり、子どもから高齢者、障害者まで地域住民の誰もが集える憩いの場としての交流スペース等を新たに整備し、地域の伝統行事の伝承や郷土の歴史・民話を語り継ぐ場としての利活用などを考えています。

## ◎第2回酒々井・千葉氏まつり

地方創生推進交付金事業

昨年10月、戦国時代から明治時代まで当町で行われていた祭礼「千葉氏のまつり」を約100年ぶりに模擬復活させ、町民との協働により『酒々井・千葉氏まつり』を開催しました。



今年度も、町民の郷土への愛着や誇りを高め、町のイメージ向上とブランド形成を図るため、10月1日（日）に開催します。現在、「酒々井・千葉氏まつり実行委員会」が中心となり、関係団体などと調整を図っています。

～・～

今後も、町の課題解決の一方策として、地方創生関連交付金などの財源を有効に活用し、皆様の協力をいただきながら、酒々井町民が一丸となり“ふるさと酒々井”の地方創生の取組を展開し、100年安心して住めるまちづくりを推進してまいります。

**報告 2 酒々井町水道事業ビジョンについて**

基本理念

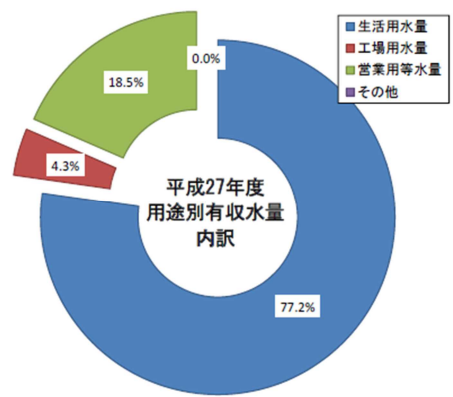
～安心を未来につなぐ、酒々井の水道～



厚生労働省が策定している「新水道ビジョン」では、水道事業者が自らの水道事業ビジョンを作成し、その実現に向けた取組を積極的に推進することが求められています。

酒々井町水道事業においても、水道創設期の浄水場施設や管路の老朽化、地震への備え、施設の効率性の低下、給水収益の低迷など、様々な課題に直面し、その対策が急務となっています。

当町の水需要の推移を見ると、徐々に減少傾向にあります。用途別水道使用水量（有収水量）の内訳では、一般住宅等の生活用水量が全体の8割弱を占めていますので、人口減少に伴い生活用水量が減ったことが、その原因と考えられます。



そのような中、今回作成した「酒々井町水道事業ビジョン」は、事業経営に関する基本計画として、将来にわたり安定した水道事業を運営していく指針となり、当町の基本理念『みんなが主役、未来へつなぐまちづくり』に貢献することを目的としています。

《体系イメージ》



《基本目標と主要施策》

1. 「安全」 安全な給水の確保
  - 水質管理体制の強化
  - 貯水槽水道の適正管理 など
2. 「強靱」 危機管理に対応した強靱な水道
  - 配水池新設を含む水道施設の再編
  - 災害に強い水道の構築
3. 「持続」 水道サービスの持続性の確保
  - 経年化対策
  - 効率的な事業経営 など

詳細は、町ホームページによりお知らせします。